



国際ロータリー第2520地区 Rotary International District 2520
大河原ロータリークラブ会報



クラブ創立 1968年2月12日

2019~20年度

国際ロータリーテーマ

ロータリーは
世界をつなぐ

ROTARY CONNECTS THE WORLD

2019-20年度 RI 会長

マーク・ダニエル・マローニー

2019-20年度 ガバナー

例会日：毎週木曜日 12時30分 会長：藤江裕佳里 広報・ICO

例会場：和洋亭 ぶざん

副会長：甘糟 仁 委員長：佐藤能文

柴田郡大河原町字新南25-18

幹事：佐々木由美子 副委員長：岡崎 隆

TEL 0224-51-1113

副幹事：武者 昌洋 委員：庄司 大 鈴木 賢

NO.1

事務所：〒989-1245 大河原町字新南25-18 TEL0224-86-5901 FAX0224-86-5905 info@rotary-ogawara.com

2020年 2月27日(木)第2543回 例会

会長あいさつ

会長 藤江 裕佳里



こんにちは。今日も皆様と元気に例会に出席しともに同じ一時を過ごすことが出来ることを嬉しく思います。

本日は大河原町の八重樫茂水道課課長をお迎えしてのスピーチ大変楽しみにしております。私たちの生活に関わる水についてのお話、八重樫課長後程宜しくお願い致します。

さて、一昨日、親しい友人からのLINEで、新型コロナウイルスの感染予防対策として根拠のない情報が書かれ、他者に転送を促すものが届きました。家族に見せていましたら共通の知人から同様のメッセージが他にもシェア

されているけどおかしい、判断が難しいとのLINEが入り、更に別の友人からこの手の情報は医学的根拠のない話で、SNSで拡散希望となっているが、根拠ないため気を付けるようにと立て続けに注意の連絡が入り、善意の発信者になることなく終わりました。親しい友人は善意からでしたが、いわゆるチェーンメールでした。

河北新報の夕刊のコラムにも掲載されていたのですが、だれもが情報の受信者にも発信者にもなれるソーシャルメディア時代、デマから逃れる知識に加え、加担しない良識も身に着けたい。「証拠」「情報源」「文脈」「読者」「目的」「完成度」この6項目を意識すれば嘘やデマの被害に遭う確率を減らせると。今日の会長挨拶といたします。



「シェアド・リーダーシップ」それぞれの力を合わせて

大河原ロータリークラブ 藤江 裕佳里 会長



新鮮でネタがデカイ 海鮮丼

コロナウイルスに負けないぞ

美味しい!! ・ 免疫力アップ!!

幹事報告

幹事 佐々木 由美子



- ① 第14回 大河原ロータリーカップ少年サッカー大会
令和2年3月7～8日 大河原南小学校グラウンド
- ② 白石川河川敷及び駅前広場一斉清掃への協力について
令和2年3月14日(土)午前9時～10時30分
白石川公園 ※雨天時は中止となります。

スマイルBOXの報告 高橋 尚敏 委員長 10名 43,000円

高橋尚敏・佐藤克美・吉田茂・八島幸夫・佐藤能文

佐々木伸明・藤江裕佳里・甘糟仁・武藤茂・丸山勝利

米山BOXの報告 山家 正信 副委員長 1名 1,000円

甘糟仁

出席の報告 武藤 茂 委員 会員数名 25名の出席 71.43%

「大河原町の水道事業」

大河原町上下水道課

課長 八重樫 茂 様



大河原町の水道事業について



大河原町上下水道課

- ① 大河原町の水道の歴史。
管材が耐震対応に更新が進められている
- ② 大河原町には、独自の水源がある。
東日本大震災の時は、大活躍しました。
- ③ これからも当たり前に出る水道を守って行きます。
東日本大震災の時は、大活躍しました。

＜水道 58 年のあゆみ＞

昭和 35 年・県の認可を得て上水道工事開始（人口 16,209 人）
 昭和 36 年・浄水施設が無いため柴田町より受水
 戸ノ内、保料、末広、尾形丁地区等に給水開始
 昭和 37 年・上川原、上町、中町、本町地区等に給水開始
 昭和 39 年・西原、幸町、中島町、錦町、丑越、稗田前地区に給水開始
 昭和 43 年・金ヶ瀬地区で水不足となり金ヶ瀬簡易水道着手
 現在の取水場付近に井戸を掘り金ヶ瀬地区で給水開始
 昭和 44 年・新田町、南桜町地区に給水開始



旧末広橋水道管布設工事



旧駅前交差点水道工事



南桜町地区配水管布設工事

昭和 45 年・東桜町地区等に給水開始
 昭和 46 年・東原町、南原町、台部団地に給水開始
 金ヶ瀬揚配水場、取水場及び大河原配水池の建設に着手
 昭和 47 年・各施設が完成し金ヶ瀬地区、JR の西側は大河原配水池から給水



建設中の大河原配水池



旧金ヶ瀬揚配水場

昭和 48 年・原前、住吉町、上谷地区に給水開始
 昭和 49 年・小山田、橋本、上大谷地区に給水開始
 昭和 50 年・川根地区（旧三菱ふそう付近）に新たに井戸を掘り取水開始
 緑町、東新町、高砂町、広瀬町、南原前、見城前地区に給水開始
 昭和 51 年・西桜町、南桜町地区に給水開始

昭和 52 年・新幹線湯水対策で湯尻、新開地区等に給水開始
 昭和 54 年・新青川、川瀬町地区に給水開始
 昭和 55 年・川根地区（川根住宅付近）に新たに井戸を掘り取水開始
 昭和 56 年・現在の取水場付近に新たに井戸を掘り取水開始
 昭和 57 年・金ヶ瀬簡易水道を大河原上水道に統合
 現在の取水場付近に新たに井戸を掘り取水開始
 昭和 58 年・新東、新南地区に給水開始（人口 20,141 人）
 昭和 59 年・川根から取水している水は鉄分が多いため除鉄マンガンを装置設置
 昭和 60 年・山崎町、新寺地区に給水開始
 ※大河原小学校付近で漏水事故が多発
 昭和 61 年・新田町地区布設替
 ※いきいきプラザ、JA 柴田大河原支所付近で漏水事故が多発
 昭和 62 年・末広、中島町地区布設替
 ※甘糟医院付近で漏水事故が多発
 昭和 63 年・末広地区布設替
 平成 元年・福田、小島地区に給水開始
 金ヶ瀬配水池（仙南・仙塩広域水道受水）の建設に着手
 ※保料、尾形丁 2 区で漏水事故が多発
 平成 2 年・保料、尾形丁 2 区布設替
 仙南・仙塩広域水道からの受水により金ヶ瀬配水池から給水開始
 （仙南・仙塩広域水道からの受水により川根地区からの取水は休止）
 平成 3 年・堤地区に給水開始（水道普及率 99%）
 古川、中部第 2（新東、新南）区画整理に給水開始
 平成 4 年・南平、小島区画整理に給水開始
 稗田前配水池（仙南・仙塩広域水道受水）の建設に着手
 ※中央公民館付近で漏水事故が多発
 平成 5 年・上町 1・2 区（県道大河原停車場線）布設替
 フォルテの建設による水需要の増加を見込み西地区農道に本管布設
 仙南・仙塩広域水道からの受水により稗田前配水池から給水開始
 （仙南・仙塩広域水道からの受水により柴田町からの受水は縮小）
 ※平井内科付近や幸町地区で漏水事故が多発



稗田前配水池



大河原配水池

平成 6 年・尾形丁 1（甲子公園から旧仙台銀行まで）、幸町地区布設替
 平成 7 年・上川原、幸町地区布設替
 ※柴田町からの配水本管で漏水事故が多発
 平成 8 年・柴田町からの配水本管布設替
 ※旧大久耳鼻科付近で漏水事故が多発
 平成 9 年・末広地区（末広橋から西原踏切までの県道）布設替
 ※本町、中町商店街付近で漏水事故が多発
 平成 10 年・本町 1、中町地区（玉山食堂から七十七銀行まで）布設替
 尾形丁、末広地区等布設替
 平成 11 年・本町 2、末広、中島町、南原前地区等布設替
 平成 12 年・本町 1、保料、丑越、見城前地区等布設替
 ※水道使用料金改定
 平成 13 年・保料、丑越、上谷地区等布設替
 平成 13 年～15 年・広表区画整理に給水開始
 平成 15 年・上川原、上町、上谷地区等布設替
 平成 16 年・上川原、上町、稗田前地区等布設替
 平成 17 年・金ヶ瀬 1・2・3 区（金ヶ瀬中央線）、鷺沼入、稗田前地区等布設替
 柴田町との協議により平成 17 年度までで受水停止
 平成 18 年・金ヶ瀬 4・5・6 区（金ヶ瀬中央線）、新田町地区等布設替



ダクタイル鉄管布設状況



配水用ポリエチレン管布設状況



上川原取水場さく井工事

平成 19 年・東新町、一軒地、上谷地区等布設替
 平成 20 年・金ヶ瀬土手下、甲子町、広瀬町地区等布設替
 平成 21 年・金ヶ瀬新居掛、錦町地区等布設替
 平成 22 年・国道拡幅に伴い取水場を改築工事に着手し井戸 2 箇所も掘り直す
 戸ノ内前地区等布設替
 平成 23 年・1 月に取水場の改築工事が完了し取水開始（自家発電装置設置）
 国道 4 号線拡幅に伴う歩道、川根地区の布設と南桜町地区等布設替

平成 24 年・金ヶ瀬揚配水場基本計画策定
 金ヶ瀬 3 区（堤幹線）、南桜町地区等布設替
 平成 25 年・金ヶ瀬揚配水場詳細設計策定
 東桜町、上谷地区等布設替
 平成 26 年・金ヶ瀬揚配水場用地買収及び造成工事
 西原前、高砂町、山島地区等布設替（人口 23,723 人）
 平成 27 年・金ヶ瀬揚配水場施設棟建築及び場内整備工事
 新田町、高砂町地区等布設替
 ※水道使用料金改定（約 5% 減）
 平成 28 年・金ヶ瀬揚配水場着水井、管理棟、車庫棟建築工事で給水開始
 県道大河原高倉線、中核病院西線、中の倉地区等布設
 平成 29 年・旧金ヶ瀬揚配水場解体工事
 西桜町、住吉町地区等布設替
 平成 30 年・南桜町、住吉町地区等布設替（人口 23,558 人）



新金ヶ瀬揚配水場



送水ポンプ

＜平成 30 年度末水道現況＞

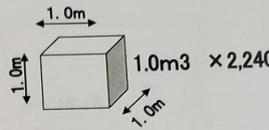
現在施設能力・・・10,440 m³/日
 ※自己水源（白石川伏流水）2,240 m³/日・仙広水 8,200 m³/日
 計画給水人口・・・24,320 人
 給水区域内人口・・・23,649 人（村田町・蔵王町 91 人）
 現在給水人口・・・23,624 人
 給水普及率・・・99.9%
 給水契約件数・・・10,371 人
 年間総配水量・・・2,662 千 m³
 年間有収水量・・・2,402 千 m³
 有収率・・・89.3%
 一日最大給水量・・・8,121 m³/日（8 月 3 日）
 一日平均給水量・・・7,289 m³/日
 一人一日平均給水量・・・309 l/日
 配水管総延長・・・168.7 km
 耐震配水管延長・・・33.4 km（鉄管・ポリエレン管含む 76.4 km）
 配水管耐震化率・・・19.8%（鉄管・ポリエレン管含む 45.3%）
 水道担当職員数・・・8 人

1) 大河原町水道事業
 上川原取水場(金ヶ瀬地区)
 井戸から約30mの深さから伏流水をくみ上げている。
 (取水上限2,240m³/日)

↓
 金ヶ瀬揚配水場
 次亜塩素酸ナトリウムにて塩素滅菌

↓
 大河原配水池(自己水源)

↓
 町内に給水



大河原町が原水にしている伏流水には汚れや濁りがないので、金ヶ瀬揚配水場で次亜塩素素により消毒だけで水道水になる。

〔伏流水・・・河川の流水が河床の地質や土質に応じて河床下へ浸透し水脈を保っている極めて浅い地下水。
 川の付近に存在し、河川の流水の変動に直接影響される。
 大河原町では水質が良好で安定している。〕

2) 仙南仙塩広域水道事業 給水対象 7市10町

七ヶ宿ダム取水
 取水位置は、ダムの水位から10～20m下がった箇所。
 位置は水温・濁度・PH・表層水のプランクトン数等を考慮し決定している。

原水検査 ダム取水塔(異臭味対策試験)
 ① 水質検査
 ② プランクトン検査

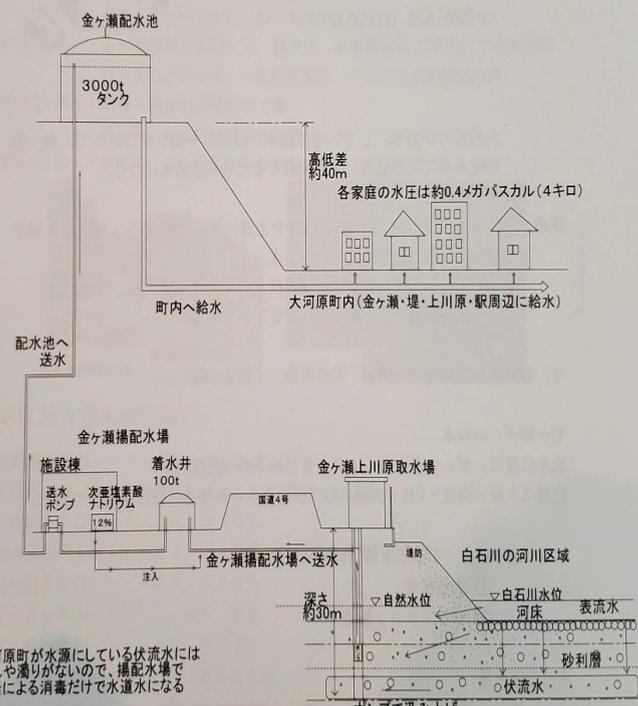
↓
 南部山浄水場
 処理工程水検査(着水井・沈殿池・ろ過池・浄水池)
 浄水検査 水質基準項目クリア

↓
 17市町に送水
 (大河原町では、金ヶ瀬配水池と稗田前配水池の2箇所を受水)

< 高区 >
 仙台市、塩竈市、多賀城市、岩沼市、村田町、松島町、七ヶ浜町、利府町、富谷町

< 低区 >
 白石市、名取市、角田市、蔵王町、大河原町、柴田町、亘理町、山元町

大河原町の水



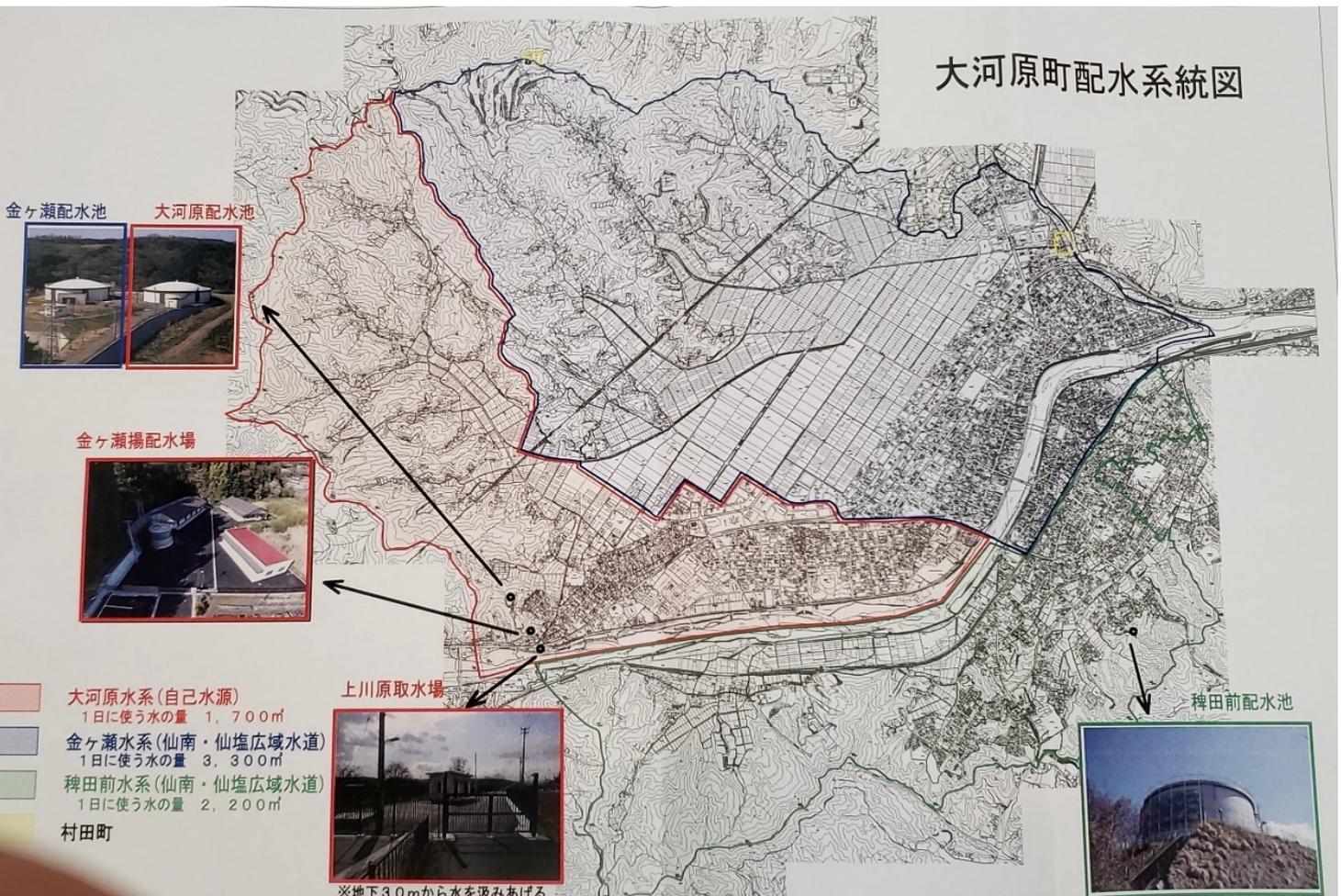
大河原町が水源にしている伏流水には汚れや濁りがないので、揚配水場で塩素による消毒だけで水道水になる

大河原町が水源にしている伏流水には、汚れや濁りがないので、揚配水場で塩素による消毒だけで水道水になる

ポンプで汲み上げ
 伏流水
 河床に形成されている砂利層の内部を流れている水。砂利層のろ過効果により不純物の少ない良質な水。河川の流水の変動に直接影響される

取水権 V=2,240m³/日

大河原町配水系統図



金ヶ瀬配水池 大河原配水池

金ヶ瀬揚配水場

上川原取水場

稗田前配水池

大河原水系(自己水源)
 1日に使う水の量 1,700m³

金ヶ瀬水系(仙南・仙塩広域水道)
 1日に使う水の量 3,300m³

稗田前水系(仙南・仙塩広域水道)
 1日に使う水の量 2,200m³

村田町

※地下30mから水を汲みあげる